

## 一般社団法人日本体力医学会評議員申請要項

評議員に申請をされたい方は申請書類を評議員会開催2ヶ月前までにご提出下さい。

### I. 申請資格について

下記、**評議員選考内規**をご参照下さい。

---

#### ◎日本体力医学会評議員選考委員会評議員選考内規

昭和62年10月7日改定  
平成6年11月18日改定  
平成24年7月20日改定

1. 評議員候補者は、7年以上継続した正会員歴を有していなければならない。
2. 評議員候補者は、7年以上の研究歴を有し、体力医学、運動生理学、スポーツ医学などに関する十分な研究業績の著書、原著論文などの業績発表を有していなければならない。
3. 評議員候補者は、評議員3名の推薦をうけて、入会年月日を明記した履歴書および業績目録を添えて、評議員会開催2カ月前迄に評議員選考委員会に申請しなければならない。
4. 日本体力医学会の学会運営に必要と認められるものは、必ずしも上記条件を満たしていなくとも評議員選考委員会の議を経て、その推薦により評議員候補者となることができる。
5. 評議員選考委員会は、推薦された評議員候補者を審議し、評議員の資格を有すると認められたものを、理事会へ報告し、評議員会に推薦する。

#### 付 則

1. 体力医学に関係する領域の研究で博士の学位を取得している場合には別途考慮する。
  2. 日本体力医学会より授与された日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を有する場合には別途考慮する。
  3. 研究業績については、原則として、体力医学に関係する原著論文が5編以上あることを基準として、評議員選考委員会で審議する。
  4. 申請書類の送付先は学会支援機構内 一般社団法人日本体力医学会評議員選考委員会とする。
- 

### II. 申請手続きについて

下記書類をHPの評議員申請(<http://www.jspfsm.umin.ne.jp/councilor/index.htm>)からダウンロードの上、ご記入・ご提出下さい。

- 1) 評議員推薦書（評議員3名の署名・捺印が必要です）
- 2) 履歴書
- 3) 研究業績

### III. 承認までの流れについて

- ① 評議員会開催2ヶ月前（7月中旬頃）までに申請書類を提出いただく。
- ② 提出期間満了後に評議員選考委員会で確認・選考を行う。
- ③ 9月理事会および評議員会総会において報告・承認を行う。

#### ■申請書提出先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階

学会支援機構内

一般社団法人日本体力医学会評議員選考委員会

Tel : 03-5981-6015 (学会専用) Fax : 03-5981-6012 (学会支援機構)

E-mail : [jspfsm@asas.or.jp](mailto:jspfsm@asas.or.jp)

評議員選考委員長 吉岡利忠

## 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2014年11月）議事録

日 時：2014年11月21日（金）午後5時30分～7時30分

場 所：八重洲倶楽部 第2・3会議室

議 長：下光輝一理事長

出席者：下光輝一，荒尾 孝，碓井外幸，小野寺昇，  
勝村俊仁，栗原 敏，鈴木政登，武政 徹，  
田中喜代次，田畑 泉，永富良一，浜岡隆文，  
福永哲夫，山内秀樹，吉岡利忠（各理事），  
小林康孝（監事），  
立身政信（第71回大会長・岩手）

欠席者：大野 誠，川久保清，川原 貴，坂本静男，  
定本朋子，下村吉治，竹森 重，田中宏暁，  
鳥居 俊，西平賀昭（各理事），  
能勢 博（監事），  
菅原正志（第69回大会長・長崎），  
田島文博（第70回大会長・和歌山）

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。

#### 2. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザーの新規申請者2名の氏名リストが提示され、承認された。

#### 3. 大塚スポーツ医・科学賞選考規定について（吉岡理事）

大塚スポーツ医・科学賞選考規定案が提示され、「奨励賞」については日本体力医学会の選考委員が選考し、「特別賞」については大塚製薬株式会社が選考するものと説明がなされた。審議の結果、学会が設ける賞に企業側が選考するという事が利益相反になりかねないため、継続審議とした。

#### 4. プロジェクト委員会規程について（田中（喜）委員長）

プロジェクト研究の改定案が資料として提示され、まず研究テーマの見直しが提案され、以下のテーマで今年度は募集する事が承認された。また、採択件数と助成額の改定案については継続審議とした。

研究テーマ

- 1) 国民の健全な発育・発達に資する研究
- 2) 中高齢者の健康長寿に資する研究
- 3) アスリートの障害予防または競技力向上に資する研究
- 4) そのほか（特別な学術的貢献が期待できる課題）

#### 5. 編集委員会規程について（鈴木委員長）

編集委員会規程の改定案が提示され、承認された。

#### 6. 選挙管理委員会規程および役員の選出に関する規定について（小野寺総務委員長）

前回理事会の意見を反映させた選挙管理委員会規程及び役員の選出に関する規定が提示され、承認された。

また、次回理事会に選挙スケジュールを提示する予定であると報告があった。

#### 7. 選挙管理委員会委員について（下光理事長）

選挙管理委員会構成のリストが提示され、承認された。  
委員長：西平 賀昭（筑波大学）  
委員：坂本 静男（早稲田大学）  
委員：大野 誠（日本体育大学）

#### 8. 委員会委員の任期について（小野寺総務委員長）

定款変更により、理事の任期が3年から2年に変更になったため、各委員会委員の任期の変更を学会HPでお知らせしていたが、委員会規程も改定する必要があると報告がなされた。現在の委員についての委嘱状を再発行する手続きもあるため、早急に持ち回り審議で委員会規程の改定を審議したいと提案がなされ、了承された。準備が整い次第持ち回り審議を行い、承認後に任期延長を記載した委嘱状を発行することとなった。

#### 9. 脳血管病予防に関する包括的リスク管理チャートについて（永富渉外委員長）

日本動脈硬化学会中心に10学会合同で作成している脳血管病予防に関する包括的リスク管理チャートの第10版が提示され、一部修正依頼をする事を前提に承認された。

### 【報告事項】

#### 1. 各種委員会報告

##### 1) 総務委員会（小野寺委員長）

学術連合より第1回体育系学術連合大会の企画提案についての依頼があり、プログラム委員会と学術委員会にコーディネーターの人選をお願いしたいと依頼がなされた。

##### 2) 編集委員会（鈴木委員長）

・JPFISM誌の“Web of Science”への申請準備とお願いについて

10月10日に「JPFISM誌の“Web of Science”への申請準備とお願い」を学会HPに掲載し、JPFISM誌に掲載された論文を引用してもらうよう依頼したと報告がなされた。

・日本医学雑誌編集者会議について

11月5日に、第7回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・第7回シンポジウムに参加し、シンポジウム「不正論文と編集者の責務」の一部資料を、学会HP上に掲載（内閣府のHPリンク）したと報告がなされた。

・投稿状況について

2014年9月1日～10月19日の期間でJPFISM誌に11編新規投稿があり、その内不採択4編、倫理審査が無い論文が2編、残りの5編は審査中であること、体力科学誌については同じく11編投稿があったと報告がなされた。

・JPFISM誌の5号について

JPFISM誌の5号が2014年12月25日に発行予

定, Reviews: 3編, Short Reviews: 3編, Regular Articles: 3編が掲載される予定であると報告がなされた。

- 3) 渉外委員会 (永富委員長)
  - ・ ECSS-JSPFSM 交流シンポジウムについて  
2016年ウィーンの公募は1件もなく、委員会から福典之先生に打診し、“Genetics of sports performance and its applications to health science”をテーマにECSSの委員会で審議中との途中経過が報告された。採択されれば、旅費の援助を行うと報告がなされた。
  - ・ ACSM 参加助成について  
例年通りACSM参加助成の公募を学会HP上で行う予定であると報告がなされた。
  - ・ ACSM Exercise is Medicine 事業との連携について  
日本医師会健康スポーツ医学委員会、臨床運動療学会、本学会研修制度との連携については、引き続き検討していくと報告がなされた。
- 4) 広報委員会 (武政委員長)  
学会HPの英文化を進めており、配布資料の現役員の氏名・所属および歴代会長の氏名・所属について、誤字がないかを確認してほしいと依頼がなされた。
- 5) プログラム委員会 (荒尾委員長)  
配布資料により、第70回和歌山大会での理事会企画のプログラム案として以下の企画が提案され、理事会で了承された。詳細については今後詰めていく事となった。
  - (1) 人を対象とした研究倫理に関する企画 (教育講演, シンポジウム, ワークショップなど)
  - (2) 今後の介護予防に果たす体力医学とは (シンポジウム)
  - (3) その他
- 6) 将来構想検討委員会 (永富委員)  
配布資料により、長崎大会時に開催された委員会

の議事録が提示され、「研究の進歩、発展を促進する活動」として、予算の範囲内で渉外委員会と連携し検討を進める事、「学会の基盤を固めて安定した学会の運営を可能にすること」として、冊子体の会員名簿を廃止し、費用を抑えた中で進めていくと報告がなされた。また、メールニュースとして会員に対して学会誌の目次を配信してはどうかと意見が出たと報告がなされた。

2. 第69回 (長崎) 大会報告 (小野寺総務委員長)  
配布資料により、以下の事項について報告がなされた。  
参加総人数：1,740名  
総演題数：902演題  
女性座長割合：14.8% (13名/88名)
3. 第71回 (岩手) 大会の進捗状況 (立身第71回大会長)  
大会の準備状況等について報告がなされた。  
会期：2016年9月23日(金) - 25日(日)  
会場：アイーナ, マリオス
4. その他
  - 1) 健康日本21推進全国連絡協議会について (下光理事長)  
配布資料により、健康日本21推進全国連絡協議会へ入会申請を行った結果、先方より入会決定の連絡があった旨、報告がなされた (平成26年11月1日付入会)。
  - 2) 国立大学教育研究評価委員会専門委員の推薦について (小野寺総務委員長)  
独立行政法人大学評価・学位授与機構より、国立大学教育研究評価委員会専門委員の推薦依頼の文書が到着し、総務委員会で推薦する方を人選し、理事長に報告の上、手続きを進めていくと報告がなされた。

## 2015年度第1回日本体力医学会編集委員会議事録

日 時：2015年2月20日(金) 15:00~16:30

場 所：AP東京八重洲通り Fルーム (12F)

出席者：鈴木政登(委員長・和文誌「体力科学」編集委員長),  
今泉和彦(副委員長・英文誌「JPFMS」編集委員長),  
木崎節子, 後藤勝正, 坂本静男, 竹森 重,  
中澤公孝, 成田和穂, 西牟田守, 藤井宣晴,  
和気秀文(各委員)

(編集事務局：佐藤信之, 本間佳子, 田中加奈子)

欠席者：井澤鉄也, 石井直方, 石原昭彦, 井上 茂,  
内田 直, 勝川史憲, 川上泰雄, 小宮山伴与志,  
下村吉治, 新開省二, 鳥居 俊, 内藤久士,  
西保 岳, 能勢 博, 八田秀雄, 藤本繁夫,  
水野眞佐夫, 宮地元彦, 山内秀樹,  
宇高 潤(各委員)(委任状18通)

### 【審議事項および報告事項】

#### 1. 2014年度第1回編集委員会の議事録

上記の件につき確認された。

#### 2. 医学中央雑誌Web版への掲載(「体力科学」誌に掲載されているJPFMS誌の和文抄録)

上記の件につき種々審議された。その結果、本委員会としては掲載を「可」とした。

#### 3. 新編集委員会の人選

上記につき種々審議された。その結果、編集委員の人選については、1) 原則として評議員の資格の有無に関係なく適任者のうちから選出されることが望ましいこと、2) JPFMS誌の研究レベルの質的向上および多様性を今後も維持するためには少なくとも年間500頁を超えるよう編集委員の一層の学術的な見識に基づいた貢献および協力が必須であるため、本学会を代表する会員から選出されなければならないことが提案された。また、MEDLINE (PubMed) の掲載が不採択であったことから、新メンバーにはゲストエディタとして外国(アジアを中心)から数名加えることが不可欠であることが提案された。

#### 4. 利益相反(COI) 申告書の記載

企業側から提供される研究費を受託した筆頭著者の

み「有」とするか、それとも企業側の共著者も「有」と記載すべきかについて審議した。その結果、研究費を受託した筆頭著者および企業に所属する共著者も「有」とし、COIを開示することとした。

#### 5. JPFMS誌のMEDLINE (PubMed) 掲載申請

編集事務局より、JPFMS誌のMEDLINE (PubMed) への掲載が「不採択」であった旨の結果が報告された。次回の申請については、新編集委員会への引き継ぎ事項とすることが了承された。次回の再申請は最短でVol. 5 (2016) である旨の報告があった。

#### 6. 体力科学・JPFMS誌の投稿状況(2014年9月1日~2015年1月31日)

編集事務局より、新規投稿がJPFMS誌:13編、体力科学誌:24編であることが報告された。JPFMS誌では申請要件の不備のあった論文が4編あり、その内訳は倫理委員会の承認を受けていないもの2編(国内)、外国(スロバキア, イラン)の論文では投稿規定に沿っていないもの2編であることが報告された。その後、出席委員よりJPFMS誌の投稿を増やすには、今後、「投稿のカテゴリーを工夫して、テクニカル・技術論等、各研究室に眠っている投稿を増やしてはどうか」との意見があった。この要望については新編集委員会への引き継ぎ事項として了承された。

#### 7. Web of Science Core Collection収録への申請

上記の件については、2014年10月10日に「JPFMS誌の“Web of Science”への申請準備とお願い」をHPに掲載された旨の報告が編集事務局よりなされた。

#### 8. JPFMS: Vol. 5, No. 1~No. 5のInvited ReviewおよびShort Reviewの執筆依頼

編集事務局から、現時点で12編の推薦があった旨の報告があった。この点について審議した結果、編集委員からの推薦数の増加をはかるため、推薦の締切日を3月13日(金)まで再度延長することで了承された。

## 第26回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

本研修会は、基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、筋力トレーニングおよびテーピングなど実習を主体とした研修会です。メタボリックシンドローム危険因子保持者などを対象とした運動指導等であり、アスリート対象ではありませんのでご注意ください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号を受けることができます。称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会の会員でない方も参加できます。また、他の研修会を受講し、資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

多数の方のご参加をお待ちしております。尚、実習を行う関係上、各年度の募集人数に制限がありますことをご了解ください。

平成26年12月1日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

山内秀樹 碓井外幸 鈴木政登 太田真 勝村俊仁 中島幸則 木村雅子

### 1. 会場

会場は東京慈恵会医科大学西新橋校各会議室・大学1号館6F機能系実習室などです。

### 2. 日時および研修カリキュラム

#### (I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学（神経・筋、呼吸、循環、代謝など）や生化学、栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。ここで学んだことを基盤として、(II) 応用コースへと進みます。

平成27年7月3日(金)

9:00~10:30	運動と神経・筋
10:40~12:10	運動と呼吸
12:10~13:10	昼休み
13:10~14:40	運動と代謝
14:50~16:20	運動と栄養
16:30~18:00	運動と循環
18:00~	懇親会（会費3000円、参加自由）

平成27年7月4日(土)

9:00~10:30	運動処方の基礎
10:40~12:10	生活習慣病の運動処方
12:10~13:10	昼休み
13:10~14:40	高血圧および心血管疾患の運動
14:50~16:20	運動器疾患の運動処方

#### (II) 応用コース

応用コースでは、有疾患者または薬物治療中の場合の運動適用の可否や運動指導の実際について学びます。実習では、自転車エルゴメータによる運動負荷試験を行い、それと関連した血液・尿検査結果データを参考に運動処方を作成する。さらに、高齢者や喫煙習慣保持者の健康を脅かす慢性閉塞性呼吸器疾患を反映する呼吸機能検査、糖尿病性腎症等の腎機能異常の有無を知る尿検査、およびメタボリックシンドローム罹患の上流因子として重要な内臓脂肪蓄積状態を知る体脂肪測定法などを実習します。その他に、テーピングや筋力トレーニング実習なども行われます。

平成27年8月7日(金)

9:00~12:10	運動処方実習（自転車エルゴメータを用いた運動負荷試験、心電図記録、呼吸機能検査、尿検査、体組成測定実習）
12:10~13:10	昼休み
13:10~17:00	救急救命実習（人体模型を用いた実習）

平成27年8月8日(土)

- 9:00~12:10 運動処方を作成(前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被検者の運動処方を作成し、実施させる)
- 12:10~13:10 昼休み
- 13:10~17:00 スポーツ障害に対するテーピングおよび筋力トレーニング実習

平成27年8月9日(日)

- 10:00~12:00 修了試験

注意:講師の都合で講義時間割りが前後することがありますので、ご了承下さい。

### 3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号を取得することができます。

修了試験は平成27年8月9日(日)10:00~12:00に東京慈恵会医科大学で行います。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集(最近8カ年400題)正解/解説付」(税込:2,000円)がありますので、ご利用下さい。

下記の「9. 申込書送付先および問い合わせ先」へお申込み下さい。

### 4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し、それに準じて講義が行われます。

### 5. 受講料

受講料は(I)基礎コース、(II)応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース(基礎コース、応用コースの各コースを単独受講)を受講する場合はそれぞれ25,000円(2日間コース)です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば、単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円(基礎・応用コース)と致します。ただし、学生証の呈示が必要です。

### 6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し、「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。

定員は各コース40名です。

### 7. その他

健康運動指導士、同実践指導者の登録更新に必要な履修単位90分1単位(講義題目8科目認定)およびTHPではそれぞれ基礎コース5単位、応用コース5単位が認定されます。

### 8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので、要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込みください。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承ください。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

### 9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13小石川アーバン4F  
 一般社団法人 学会支援機構内  
 日本体力医学会スポーツ医学研修会 係  
 電話:03-5981-6015 FAX:03-5981-6012  
 E-mail:jspfsm@asas.or.jp

## 第26回日本体力医学会スポーツ医学研修会仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申込ます。(該当する□にレ印をつけてください。)

- 第26回 基礎コース  
 第26回 応用コース  
 試験

氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先 〒 \_\_\_\_\_

TEL : \_\_\_\_\_ E-Mail : \_\_\_\_\_

## 平成27年度日本体力医学会プロジェクト研究公募について

日本体力医学会プロジェクト研究(以下、プロジェクト研究)は、平成9(1997)年度に発足しました。日本学術会議体力科学研究連絡委員会から「日本人のための健康体力指標の標準化、及び健康増進・疾病予防のための身体活動に関する推奨・指針作成への提言」が出されたことを受けて、平成16年度からこの提言に関わるプロジェクト研究を公募して参りました。平成27年度の公募研究テーマが下記のごとくに決定しましたので、奮って応募いただくようご案内致します。

### プロジェクト研究の全体像

- プロジェクト研究は、日本人の健康維持・増進に関連した体力および身体活動・運動を主題とした研究であり、その成果として、社会に向けて勧告、指針などの提言がまとめられるものでなければならない。
- 平成27年度は下記のいずれかの研究テーマに関する研究課題に限定する。
  - 健全な発育・発達に資する研究
  - 中高齢者の健康長寿に資する研究
  - アスリートの障害予防または競技力向上に資する研究
  - そのほか(特別な学術的貢献が期待できる課題)
- 多施設が共同研究を行うことにより、より優れた成果が出るような研究プロジェクトであること。その際に各研究者の役割を明確にすること。
- プロジェクト研究の選考は学術委員会の下部組織であるプロジェクト研究委員会が行う。
- プロジェクト研究の申請は、研究代表者(評議員)と数名の発起人が、研究計画書を共同で作成し、プロジェクト研究委員会に提出する。
- プロジェクト研究委員会では提出された研究計画書を審査し、採択候補研究を選定する。なお、新規採用可能件数は原則1件である。
- プロジェクト研究委員会は研究計画に基づき研究費を配分する。研究費は主に調査や資料の収集などに当てるものとする。年間およそ100万円程度

を限度として配分する。プロジェクト研究の研究成果は3年以内でまとめ、(1)プロジェクト研究委員会の審査を経て、理事会の承認を得ることとし、(2)「体力科学」および日本体力医学会大会において公表する。(注：学会の公式見解とするかどうかは、理事会で審議する)

プロジェクト研究に応募される方は、研究代表者(評議員に限る)と数名の発起人が、以下の項目に沿って研究計画書をA4版にワードプロセッサで書き、平成27年4月30日までに下記の提出先にお送りください(電子メールによる提出が望ましい)。研究計画の採否は追って、研究代表者に通知します。

### 研究計画書

- 研究代表者名(署名捺印してください)、所属部署・所属大学など、住所、最終学歴(卒業大学または修了大学院)と年月日、学位の有無、連絡先の住所、電話、ファックス、電子メールアドレス
- 研究発起人名、所属部署・大学、最終学歴(卒業大学または修了大学院)と年月日
- 研究課題
- 研究目的(200字以内)
- 研究期間(3年以内)
- 研究計画(200字以内)
- 研究方法(400字以内)
- 期待される研究成果(200字以内)
- 研究費の使途(会合費、通信費、印刷代などの費用)に分けて概算を記載してください
- この研究に関するこれまでの成果(原著、著書などの研究業績)を番号をふって書いてください

### 提出先

田中喜代次  
 日本体力医学会プロジェクト研究委員会委員長  
 〒305-8574 つくば市天王台1-1-1  
 筑波大学体育系  
 電話：029-853-2655 Fax：029-853-2986  
 E-mail：tanaka@taiiku.tsukuba.ac.jp

## 第24回 バイオメカニズム・シンポジウム in 新潟 ～知的刺激×異分野融合×パワースポット×徹底討論～

主催：バイオメカニズム学会 (SOBIM JAPAN)  
期 日：2015年7月24日(金)～26日(日)  
開催地：岩室温泉ゆもとや  
(新潟県新潟市西蒲区岩室温泉91-1)  
夜 話：人類進化の負の遺産  
講 師：奈良貴史先生(新潟医療福祉大学)  
U R L：http://sv01.ipe.nuhw.ac.jp/sobim24/

参加申込み締切り：2015年6月17日(水)  
本シンポジウムWebサイトにアクセスし、参加申込書のテンプレートファイルをダウンロードし、必要事項を入力の上、電子メールでシンポジウム事務局へご送付ください。  
シンポジウム事務局：新潟医療福祉大学 久保雅義  
E-mail：24thBMS@gmail.com

## 第36回バイオメカニズム学術講演会 (SOBIM2015 in Shinshu) ～多分野の知恵の織物=バイオメカニズム～ －開催案内－

主催：バイオメカニズム学会  
会 期：2015年11月28日(土) 29日(日)  
会 場：信州大学繊維学部  
〒386-8567 長野県上田市常田3-15-1

### ●一般演題発表募集

講演申込締切 2015年7月1日(水)  
原稿投稿締切 2015年10月15日(木)

### ●事前参加登録締切 2015年11月1日(日)

### ●会場までの交通機関

東京駅より：北陸新幹線 上田駅下車  
名古屋駅から：中央本線「特急しなの」長野駅行き→  
長野駅で北陸新幹線(東京方面)に乗り換え→上田駅で下車

上田駅お城口から徒歩20分(約1.4km)

バスを利用する場合は、上田駅お城口バス停1番から、千曲バス「佐久上田線勝間行」「鹿教湯線鹿教湯行」「武石線栗行」に乗車→バス停「イオン上田前」下車。または上田駅お城口バス停4番から上電バス「市内循環あおバス」に乗車→バス停「イオン上田前」下車

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/guidance/map.html>

### ●第36回バイオメカニズム学術講演会事務局

〒386-8567 長野県上田市常田3-15-1  
信州大学繊維学部 小関道彦  
TEL/FAX：0268-21-5347  
事務局E-mail：sobim2015@shinshu-u.ac.jp  
学術講演会HP：http://fiber.shinshu-u.ac.jp/sobim2015/

### ●協賛団体(予定)

計測自動制御学会、システム制御情報学会、情報処理学会、人工知能学会、人体科学会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本運動生理学会、日本FES研究会、日本看護科学学会、日本看護技術学会、日本看護研究学会、日本機械学会、日本義肢装具学会、日本義肢装具士協会、日本建築学会、日本作業療法士協会、日本シミュレーション学会、日本写真測量学会、日本人工臓器学会、日本人類学会、日本生活支援工学会、日本整形外科学会、日本生体医工学会、日本生理学会、日本体育学会、日本体力医学会、日本人間工学会、日本バイオマテリアル学会、日本バイオメカニクス学会、日本福祉のまちづくり学会、日本補綴歯科学会、日本理学療法士協会、日本リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション看護学会、日本リハビリテーション工学協会、日本臨床スポーツ医学会、日本臨床神経生理学会、日本臨床バイオメカニクス学会、日本ロボット学会、日本ロボット工業会、ヒューマンインタフェース学会、ライフサポート学会、臨床歩行分析研究会、IEEE EMBS Japan Chapter、IEEE EMBS West Japan Chapter

## ライフエンジニアリング部門シンポジウム2015 (LE2015)

期 日：2015年9月2日(水)～4日(金)

会 場：九州工業大学 飯塚キャンパス  
(福岡県飯塚市川津680-4)  
新飯塚駅より九州工業大学スクールバスに乗車  
(約15分)  
飯塚バスセンターより九州工業大学スクールバスに乗車(約20分)

### 研究奨励賞(部会)：

35歳以下の若手研究者を対象とした生体・生理工学部会研究奨励賞を設けます。奮ってご応募ください。選奨規定については下記ホームページをご覧ください。

[http://www.sice.or.jp/org/bio\\_pe/syorei.html](http://www.sice.or.jp/org/bio_pe/syorei.html)

### 学生奨励賞(部会)：

学生を対象とした生体・生理工学部会学生奨励賞を設けます。奮ってご応募ください。選奨規定については下記ホームページをご覧ください。

[http://www.sice.or.jp/org/bio\\_pe/gsyorei.html](http://www.sice.or.jp/org/bio_pe/gsyorei.html)

学術奨励賞：SICEホームページをご覧ください。

申込方法・著作権：SICEホームページをご覧ください。

申込締切：2015年5月15日(金)

採択通知：2015年6月中旬

(実行委員会で査読後、採否を決定します)

### 講演時間：

発表形式は口頭のみです。オーガナイズドセッションは質疑応答を含め20～30分とし、一般セッションは15分程度とします。なお、講演時間は講演数によって変更する可能性があります。

### 講演原稿：

発表概要と論文本文(A4判2～6ページ)の両方の原稿を提出していただきます。詳細はシンポジウムホームページをご覧ください。

原稿締切：2015年7月3日(金) 必着

参加費：参加費には論文集代が含まれます(全て消費税込)。

主催・協賛学会員 : 10,000円

会員外 : 12,000円

学 生 : 5,000円

学 生(論文集なし) : 2,000円

事前割引料金(2015年8月7日(金)までにお振り込みの方)

主催・協賛学会員 : 9,000円

会員外 : 11,000円

学 生 : 4,500円

学 生(論文集なし) : 2,000円

論文集：5,000円(消費税込)

支払方法：シンポジウムホームページをご覧ください。

シンポジウムHP：<http://www.sice.or.jp/LE2015/>

主 催：

計測自動制御学会 ライフエンジニアリング部門

共 催：九州工業大学

企画・運営：計測自動制御学会 ライフエンジニアリング部門 生体・生理工学部会

協 賛：

映像情報メディア学会、応用物理学会、システム制御情報学会、情報処理学会、人工知能学会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本医療機器学会、日本医療情報学会、日本音響学会、日本機械学会、日本神経回路学会、日本神経科学学会、日本生体医工学会、日本生体磁気学会、日本生物物理学会、日本生理学会、日本体育学会、日本体力医学会、日本人間工学会、日本リハビリテーション工学協会、日本臨床神経生理学会、日本ロボット学会、バイオメカニズム学会、ライフサポート学会、日本看護理工学会、Japan Chapter of IEEE Engineering in Medicine and Biology Society、West Japan Chapter of IEEE Engineering in Medicine and Biology Society、計測自動制御学会九州支部、日本生体医工学会九州支部、九州工業大学バイオメディカルインフォマティクス研究開発センター(依頼中を含む)

問合せ先：

九州工業大学大学院情報工学研究院システム創成情報工学研究系

井上勝裕/電話 (0948) 29-7723

E-mail : [inoue@ces.kyutech.ac.jp](mailto:inoue@ces.kyutech.ac.jp)

LE2015事務局 E-mail : [le2015@sice.or.jp](mailto:le2015@sice.or.jp)

SICE事務局：部門協議会担当/電話 (03) 3814-4121

E-mail: [bumon@sice.or.jp](mailto:bumon@sice.or.jp)

## 編 集 後 記

体力科学第64巻2号をお届けいたします。本号には総説1編、原著3編及び資料2編を掲載することができました。ご投稿いただいた著者の皆様ならびに査読をご担当いただいた先生方に感謝いたします。

さて、学会が発展していくために避けて通れないのが、「国際化」と「領域の拡大」です。日本体力医学会の学会誌は、長らく和文誌の体力科学のみでしたが、国際化の一環として2012年に英文誌JPFISMを創刊いたしました。出来るだけ早く、世界中からレベルの高い論文が投稿され、また引用される学会誌となるため、編集委員会としてもMEDLINE (PubMed) への収録申請やWeb of Scienceへの申請準備など、さまざまな努力を行っております。会員の皆様には、体力科学とともにJPFISMにも積極的に原著論文の投稿をお願いいたします。

学会の「国際化」のもう一つの課題は、学会大会への外国人研究者の参加をいかに増やすかです。すでに、国内の学会の中には、演題(抄録)登録はすべて英文とし、発表や質疑応答もすべて英語で行うことで、外国人研究者が参加しやすい環境を整えている学会もあります。日本体力医学会大会でも国際セッションに海外の著名な研究者を招いて、大会の国際化に尽力しておりますが、全体の参加者数に占める外国人研究者の割合は決して高いとは言えません。学会大会の英語化=国際化とは必ずしも言えませんが、日本体力医学会大会での発表がそのまま世界への発信となるようにするにはどうしたらよい

か、今後の検討課題だと思います。

「領域の拡大」については、一例を挙げますと、運動療法やリハビリテーションの効果は、長らく本人の努力に大きく依存してきましたが、近年はパワーグッズやロボットの力を借りて行う方法が考案されてきています。運動療法の世界では、No pain, no gain. (苦勞なくして成果なし) という考え方が私も含めて根強くあり、こうした文明の利器を無視しがちです。しかし、これから日本は“超”高齢社会に突入していくわけですから、このようなサポート機器と本人の動きをうまく組み合わせた運動療法やリハビリテーションを構築していくことも、今後、学会として力を入れていく必要があるのではないかと思います。そのためには、工学系の研究者や学会との連携が不可欠です。例えば、日本体力医学会と工学系の学会でジョイントセッションなどが開催できれば、さらに研究が加速され、学会としても社会に大きく貢献できるのではないかと思います。

研究者は常に新しいことにチャレンジし続けなければ衰退すると言われる。学会も同じです。会員の皆様のJPFISMへの投稿や新たな研究分野への挑戦が、日本体力医学会をさらに国際化させ、その領域を大きく広げていきます。引き続き、日本体力医学会へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

成田和穂

---

### The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.64, No.2

---

#### 体 力 科 学 第 6 4 巻 第 2 号

平成 27 年 3 月 25 日 印 刷

平成 27 年 4 月 1 日 発 行

編集兼発行者	鈴木 政 登
発 行 所	一般社団法人日本体力医学会 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階 学会支援機構内 TEL : 03-5981-6015 FAX : 03-5981-6012 E-mail : jspfsm@asas.or.jp
編 集 事 務 局	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社内 TEL : 0235-22-3120 FAX : 0235-22-3120 E-mail : hj-tairyoku@turui.co.jp
印 刷 所	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社

---